

牛久小中学校で自校炊飯始まる

毎日炊きたてご飯をいただきます！



1

1 炊きたてのご飯に
喜ぶ児童



2

2 給食を楽しむ
児童と池辺市長

4月から牛久小中学校で自校炊飯が始まりました。

4月15日、池辺市長、野口副市長、染谷教育長が児童と一緒に、炊きたてのご飯を教室で食べました。

主食のご飯は牛久産「コシヒカリ」100%で、給食室で一釜ずつ炊飯し、教室で炊き立てを食べられます。市ではこれまでも給食に地場産物を積極的に納入し、地産地消を進めてきました。

6年1組の星光翼さんは「学校で炊いたご飯は、あったかくておいしい」と話していました。

自校炊飯は、牛久小中学校が市内で5番目。順次市内の他の小中学校でも実施する予定です。普段の給食はもちろん、災害時に避難所となる小中学校で、避難者に温かいご飯の提供が可能になります。



ぞうぐみ

上町ふれあい保育園のお友だちは、思い思いに描いた「牛久小中学校の桜の木」を披露してくれました。また、壁には「うしく・鯉まつり」で展示する鯉のぼりを飾ってくれました。

上町ふれあい保育園は、牛久小中学校内に、この4月から開園し、子どもたちは3月に閉園した上町保育園から引っ越してきました。

新しい保育園は小学生もいるにぎやかな環境。元気いっぱい過ごしてね。



牛久小中学校の余裕教室を改修して開園。保育園専用の門や園庭もあり、子どもたちが、のびのび遊んでいます。



牛久市は
スローフードを
応援しています。



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。